

# 発行会社が仮想通貨取引を特定し、サービス効率化を実現

米国トップ 20 の金融機関クライアントは、多用途に活用可能な Visa Analytics Platform を利用して、新たな業界トレンドのニーズに対応しています。昨今の仮想通貨購入の増加に伴い、Visa は仮想通貨取引の特定および支払いシステムの整合性維持に役立つコード処理システムを開発しました。エコシステムの発展とともに、クライアントにはカードビジネスへの影響について進展を注意深く監視することが求められています。



## 課題

仮想通貨購入がキャッシングとして再分類されることが間近に迫る中、クライアントはカード会員への影響を把握し、コールセンターの業務量の増加など、運用下流への影響に備えたいと考えていました。

クライアントの内部報告システムでは、記録された仮想通貨取引の総数は示されていましたが、影響を受けるカード会員数は示されていませんでした。

## Visa Analytics Platform カスタムレポート

Visa Analytics Platform のカスタム取引フィルターを使用することにより、幅広いトピックに関するカスタムレポートを作成できます。

### トピック例：

- 非接触決済
- カード提示とカード非提示の比較
- ビザダイレクト
- トークンリクエスト



## 効果

クライアントは、カスタマイズされた Visa Analytics Platform レポートをわずか数分で作成し、影響を受けるカード会員を特定することができました。その結果、以下が可能となりました。



実際に影響を受けるカード会員は、当初の予測よりも **60% 少ない**ことが判明



仮想通貨購入をおこなったプロフィールにラベルを付けることで、コールセンターの担当者がこれらのケースを迅速に特定し、平均通話待ち時間の短縮を促進



影響を受けたクライアントに的を射た適切なサポートを提供し、長時間・不満足となるようなやり取りを回避

Visa Analytics Platform の詳細やデモのご依頼は、お住まいの地域の Visa アカウントエグゼクティブにお問い合わせいただくか、[dataproduts@visa.com](mailto:dataproduts@visa.com) までご連絡ください。